

## 葉酸たまごでベトナムの国家栄養戦略を支援 当社提案の基礎調査事業をJICAが採択

当社は、ベトナムにおいて、葉酸たまごによる母子の栄養改善及び重大疾病の低減を目指し、調査事業を開始いたします。この度独立行政法人国際協力機構（JICA）の「2019年度第二回中小企業・SDGsビジネス支援事業<sup>※1</sup>」に当社事業が採択<sup>※2</sup>されました。JICAとの契約締結後、ベトナム国立栄養学研究所<sup>※3</sup>（以下「NIN」という）の協力により、本事業を行ってまいります。

人口94百万人を抱えるベトナムでは、2018年の出生数が1.38百万人、合計特殊出生率は合計2.05人となっており、妊婦や乳幼児での栄養事情の課題が大きくなっており、特に、妊娠期の葉酸（ビタミンB9）不足は、二分脊椎症という神経管閉鎖障害の発症率を高める要因となり、事実ベトナムの二分脊椎症の発症率は他国と比較して高い状況です。

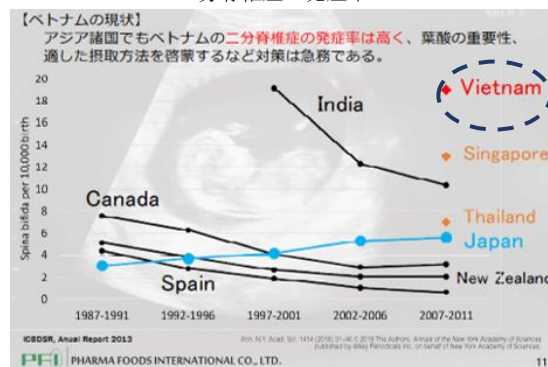
ベトナム政府はこれを重視、「国家栄養戦略<sup>※4</sup>」において、妊産婦等への葉酸補給が明記・推奨されるに至りました。

当社は、養鶏飼料の添加剤「ファーマバイオミックス<sup>TM</sup>（以下「PBM」という）」を日本、中国、韓国、そしてインド、台湾、ドバイ等ですでに販売しております。通常の飼料では、卵の可食部100g当りの葉酸含有量は43 $\mu$ g<sup>マイクログラム</sup>ですが、PBMを混合すると、葉酸含有量を100 $\mu$ g以上に格段に増加させることが可能となります（この卵を「葉酸たまご」といい、日本では「しんたまご<sup>※6</sup>」として販売）。

葉酸たまごに関しましては普及活動の一環として、JA全農たまご株式会社と当社で一般社団法人「葉酸と母子の健康を考える会<sup>※5</sup>」を設立・運営しており、女性と子どもの健康に葉酸が果たす役割を広く情報発信しております。

今回の調査事業を踏まえて、NINとの協力を最大限に生かしながら、現地の市場における葉酸のニーズを把握し、消費者の葉酸の重要性に関する認知不足を解消する政策展開に協力し、および特殊飼料の販売開拓を行います。今後も世界の栄養状態の改善に取り組み、SDGs達成に寄与してまいります。

二分脊椎症の発症率



- ※1 開発途上国の開発ニーズと本邦民間企業の優れた製品・技術とのマッチングを行い、SDGs達成に貢献するビジネス及び開発途上国の抱える課題の解決を図り、ODAを通じた二国間関係の強化や経済関係の一層の推進を目的としている
- ※2 2019年度第二回中小企業・SDGsビジネス支援事業採択案件一覧  
[https://www.jica.go.jp/chotatsu/sme\\_fs/2019/ku57pq00002j97wj-att/191001\\_result\\_01.pdf](https://www.jica.go.jp/chotatsu/sme_fs/2019/ku57pq00002j97wj-att/191001_result_01.pdf)
- ※3 <http://viendinhduong.vn/vi/hop-tac-quoc-te/national-institute-of-nutrition-159.html>
- ※4 ベトナム国家栄養戦略 2011-2020 および 2030 年に向けたビジョン
- ※5 <http://yo-san.jp/>

※6 日本の葉酸たまご採用例

